

2023年9月29日

各位

アクティビア・プロパティーズ投資法人
東急不動産リート・マネジメント株式会社

サステナビリティレポート 2021 の一部訂正について

「サステナビリティレポート 2021」の環境パフォーマンス数値のうち、再生可能エネルギー年間生成量及び再利用した水の量について、持分換算及び一部集計に誤りがあったことが判明しましたので別紙のとおり訂正いたしました。訂正箇所はイエローハイライトの部分となりますのでご参照ください。

以上

環境負荷低減工事

API では中長期的な計画を立てた上で、LED 化や空調工事等の環境負荷を低減する工事を毎期実施しております。物件の共用部分だけでなく、テナント入替等の機会を見つけ専有部分についても随時工事を行っております。

<環境負荷軽減工事例>

LED化 TO-16 A-PLACE品川東 	空調設備 UR-8 A-FLAG札幌 	トイレ・水回り AA-7 大阪中之島ビル 	ELV、ESL更新 UR-8 A-FLAG札幌 	その他 TO-8 A-PLACE新橋 
✓ 専有部へのLED化の導入 消費電力 30% 低減	✓ 消費電力削減効果のある 空調機等の導入 消費電力 49% 低減	✓ 節水効果のあるトイレの導入 小便器 66% 、大便器 47% の節水	✓ エスカレーター更新 (マイコンインバータ制御) 消費電力 20% 低減	✓ 省エネLow-Eガラス設置 年間空調負荷 7% 削減

(注) 報告対象期間の1年間に行った工事だけでなく、これまでに実施してきた工事も含まれております

環境パフォーマンス

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
エネルギー年間消費量 (注2)	実績 (MWh)	86,660	102,039	104,804	112,120	116,744	48,774 (107,339)
	原単位 (MWh/m)	0.23	0.25	0.22	0.22	0.21	0.29 (0.20)
再生可能エネルギー年間生成量 (MWh)		0.05	0.03	0.03	0.04	0.02	0.14
CO2年間排出量 (注3)	実績(合計) (t-CO2)	34,197	37,285	40,910	46,172	45,347	40,683
	スコープ1 (直接排出量)	-	-	-	-	-	1,465
	スコープ2 (間接排出量)	-	-	-	-	-	18,037
	スコープ3 (テナント排出量)	-	-	-	-	-	21,181
	原単位 (合計/スコープ1&2) (t-CO2/m)	0.093	0.090	0.087	0.089	0.083	0.116 (0.07)
年間水消費量	実績 (m)	526,515	533,757	591,392	675,847	701,847	443,885
	原単位 (m/m)	1.42	1.29	1.25	1.30	1.29	0.82
再利用した水の量(中水および下水) (m)		-	3,492	6,667	18,992	30,768	15,549
年間廃棄物排出量 (t) (注4)		2,824	3,209	3,665	4,262	4,367	2,899

(注1) 原則として、上記はすべて各年度における底地を除く不動産ポートフォリオ全体での数値。(対象物件数 2015年度: 30物件 2016年度: 37物件 2017年度: 40物件 2018年度: 42物件 2019年度: 43物件 2020年度: 41物件)
 (注2) 建物における燃料(ガス、重油等)、電気、地域冷暖房の消費量。2020年度の実績値は本投資法人がエネルギー管理権限を有する部分を対象に算定。カッコ内は前年度までと同様、テナントによる排出量を含めた実績値。
 (注3) 計算に使用した排出係数、排出量計算方法は環境省「温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度」に準ずる。スコープ3はテナント排出量(カテゴリー13)を測定しており、データを収集できた範囲で開示。2019年度まで、および2020年度カッコ内の原単位数値は、対象物件の延床面積に稼働率を考慮して換算。2020年度の原単位は、スコープ1とスコープ2を対象とし、対象物件の共有部面積で換算。
 (注4) テナントが直接排出する廃棄物は含まない。また、2016年度は一部データ未取得の物件あり。(全体の91.5%)
 (注5) 2021年6月25日更新。

環境負荷低減工事

API では中長期的な計画を立てた上で、LED 化や空調工事等の環境負荷を低減する工事を毎期実施しております。物件の共用部分だけでなく、テナント入替等の機会を見つけ専有部分についても随時工事を行っております。

<環境負荷軽減工事例>

LED化	空調設備	トイレ・水回り	ELV、ESL更新	その他
TO-16 A-PLACE品川東	UR-8 A-FLAG札幌	AA-7 大阪中之島ビル	UR-8 A-FLAG札幌	TO-8 A-PLACE新橋
				
✓ 専有部へのLED化の導入 消費電力 30% 低減	✓ 消費電力削減効果のある 空調機等の導入 消費電力 49% 低減	✓ 節水効果のあるトイレの導入 小便器 66% 、大便器 47% の節水	✓ エスカレーター更新 (マイコンインバータ制御) 消費電力 20% 低減	✓ 省エネLow-Eガラス設置 年間空調負荷 7% 削減

(注) 報告対象期間の1年間に行った工事だけでなく、これまでに実施してきた工事も含まれております

環境パフォーマンス

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
エネルギー年間消費量 (注2)	実績 (MWh)	86,660	102,039	104,804	112,120	116,744	48,774 (107,339)
	原単位 (MWh/m ²)	0.23	0.25	0.22	0.22	0.21	0.29 (0.20)
再生可能エネルギー年間生成量 (MWh)		0.06	0.05	0.04	0.04	0.02	0.19
CO2年間排出量 (注3)	実績 (合計) (t-CO2)	34,197	37,285	40,910	46,172	45,347	40,683
	スコープ1 (直接排出量)	-	-	-	-	-	1,465
	スコープ2 (間接排出量)	-	-	-	-	-	18,037
	スコープ3 (テナント排出量)	-	-	-	-	-	21,181
	原単位 (合計/スコープ1&2) (t-CO2/m ²)	0.093	0.090	0.087	0.089	0.083	0.116 (0.07)
年間水消費量	実績 (m ³)	526,515	533,757	591,392	675,847	701,847	443,885
	原単位 (m ³ /m ²)	1.42	1.29	1.25	1.30	1.29	0.82
再利用した水の量 (中水および下水) (m ³)		-	12,072	14,961	18,993	30,768	35,565
年間廃棄物排出量 (t) (注4)		2,824	3,209	3,665	4,262	4,367	2,899

(注1) 原則として、上記はすべて各年度における底地を除く不動産ポートフォリオ全体の数値。(対象物件数 2015年度: 30物件 2016年度: 37物件 2017年度: 40物件 2018年度: 42物件 2019年度: 43物件 2020年度: 41物件)

(注2) 建物における燃料(ガス、重油等)、電気、地域冷暖房の消費量。2020年度の実績値は本投資法人がエネルギー管理権限を有する部分を対象に算定。カコ内は前年度までと同様、テナントによる排出量を含めた実績値。

(注3) 計算に使用した排出係数、排出量計算方法は環境省「温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度」に準ずる。スコープ3はテナント排出量(カテゴリー13)を測定しており、データを収集できた範囲で開示。

2019年度まで、および2020年度カコ内の原単位数値は、対象物件の延床面積に稼働率を考慮して換算。2020年度の原単位は、スコープ1とスコープ2を対象とし、対象物件の共有部面積で換算。

(注4) テナントが直接排出する廃棄物は含まない。また、2016年度は一部データ未取得の物件あり。(全体の91.5%)

(注5) 2021年6月25日更新。